



新年のあいさつ

公益社団法人長野県介護福祉士会 会長 鈴木 よし子

旧年中は大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

会員の皆様のご期待に沿えるよう、邁進してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

そして、2024年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。福祉、医療現場での被災状況が明らかにされるにあたり、何かできることがあればと、心が晴々しない年明けとなりました。

さて、2023年は、世の中が激しく移り変わっていくものであるということを改めて実感する年でした。新型コロナウイルスが5類感染症に移行されコロナ禍以前の生活に日々が戻っていく中、介護カフェなど顔を合わせた活動が増えてきました。また、新しい活動を繰広げることができました。福祉の世界も一瞬にしてICT、介護ロボットが世の中に普及しました。

日本は少子化の傾向が止まらず、総人口は減少の一途をたどっています。ただ、65歳以上の高齢者は増加しているのが現状です。2023年に総務省統計局が発表したデータでは、総人口のうち高齢者が29%を占めているとされています。

私たち介護福祉士は、今以上に超高齢化に備えてリーダー的な役割を果たしてかなければならなくなりました。知識と行動が一つになり介護の世界を楽しく、明るくしていく必要があります。『昔を引き継ぎ、未来に繋いでいく』未来を切り開いていく勇気を会員の皆さんにも理解していただきたいと思います。一緒に、地道に前に進んでいきましょう。それには、皆さんの参加が必要です。各ブロックでの活動を充実させて、本会に皆さんの声を届けてください。役員だけではなく、皆さんと一緒に参加できることが重要です。

「介護福祉士」って何？介護に関する国家資格を持つ社会福祉専門職です。いったい、何をやる人？何と答えますか？地域に、自信をもってアピールできる会員であってほしいと思います。

これからは、地域の社会資源を活用するだけでなく、必要に応じて新たな社会資源をつくり、利用者の主体性や力を引き出し、地域社会の一員としての社会参加を行う介護福祉士は地域包括ケアシステムの実現に向けて重要な役割を担っていきます。チャレンジ精神をもち、活気あふれる会を皆さんで作っていきましょう。

本会取り組みの柱は「繋がりと専門性の強化、組織活動、地域活動の推進」とし、

- ① 変化するニーズに柔軟に対応し、組織強化を図る(広報活動)
- ② 職場を超えた横のつながりをつくり、介護の質の担保をしていく(研修・イベント・交流会等の充実)
- ③ 社会、地域貢献を目的にした活動推進。

について実践をしてまいります

今年も一緒に会を盛り上げていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。